

学連の“あゆみ”

(概略)

- 昭和 21 年 同志社大学、関西学院大学、大阪機械工専の 3 校で関西学生レスリング連盟を作り、リーグ戦を行う。9 人制、場所は西宮体育館。
- 24 年 春 大阪機械工専が脱退。関西大学が加盟。同志社大学、関西学院大学、関西大学の 3 校でリーグ戦を行う。
- 29 年 秋 近畿大学、八幡大学が加盟。5 校リーグとなり、3 日間で行うようになった。八幡大学の加盟で西日本学生レスリング連盟と名称を変える。
- 30 年 春 名城大が加盟、6 校リーグとなった。試合もこの頃より大阪、神戸の YMCA を使用。
- 31 年 春 八幡大学が連盟より脱退。5 校リーグとなる。
- 32 年 春 名城大学、リーグに参加せず（学校の都合により）しばらく脱退。
- 33 年 春 今まで 9 人制 (F2、B2、Fe2、L2、W1) より 11 人制 (F2、B2、Fe2、L2、W2、M1) のリーグ戦となる。
- 34 年 春 名古屋商科大学が加盟、5 校リーグとなる。
- 35 年 春 名古屋商科大学、名城大学とそらい、関西大学、関西学院大学、同志社大学、近畿大学と久し振りに 6 校リーグを行う。
- 36 年 秋 初めて会場を名古屋に移し（名古屋商科大学体育館）、リーグ戦を行う。
- 37 年 西日本学生個人選手権大会を始める。
- 39 年 秋 桃山学院大学が加盟、7 校リーグとなる。日程も 4 日間を要するようになり、オリンピックの影響もあって連盟も一層飛躍する。
- 40 年 春 会場を大阪府立体育館に固定することを決め、有料にて試合を行う。
- 秋 西日本学生選手権大会にグレコローマンも取り入れる。
八田杯、松井杯、小田原杯、井川杯の設置。
- 41 年 春 広島修道大学が加盟。8 校リーグとなり、日程も 2 週間となる。
広島、名古屋、大阪の 3 会場でリーグ戦が行われる。
- 41 年 秋 中京大学が加盟、9 校リーグとなる。
- 42 年 秋 福岡大学が加盟。加盟校が 10 校となり、従来のリーグ戦形式を変則トーナメントリーグ戦形式とする。（但し、来シーズンの形式は未定）。従来の 1 チーム 11 人制 (F2、B2、Fe2、L2、W2、M1) を 9 人制 (F1、B2、Fe2、L2、W1、M1) とする。
- 43 年 春 10 校リーグを強行（45 試合）、日程延べ 10 日間を要す。
- 44 年 春 10 校リーグ 45 試合
- 秋 2 部制を取り入れる。個人戦 48 kg 級を取り入れる。
大阪体育大学が加盟し、一部 6 校、二部 5 校となる。
- 45 年 春 龍谷大学が加盟し、一部 6 校、二部 6 校となる。
- 秋 金沢工業大学が加盟し、一部 6 校、二部 7 校となる。
- 47 年 秋 金沢工業大学が脱退。金沢経済大学、大阪市立大学の加盟。一部 6 校、二部 8 校となる。
- 49 年 春 金沢経済大学が脱退。
- 51 年 春 神戸大学が加盟。
- 52 年 春 徳山大学が加盟。龍谷大学の脱退により、一部 6 校、二部 8 校となる。
- 53 年 春 京都産業大学の加盟により、一部 6 校、二部 9 校となる。
- 55 年 春 南九州大学の加盟により、一部 6 校、二部 10 校となる。
- 60 年 春 鹿屋体育大学の加盟により、一部 6 校、二部 11 校となる。
- 62 年 春 鹿屋体育大学の脱退により、一部 6 校、二部 10 校となる。
- 平成 4 年 秋 名城大学の脱退により、一部 6 校、二部 9 校となる。
- 6 年 春 天理大学の加盟により、一部 6 校、二部 10 校となる。
- 7 年 秋 立命館大学の加盟により、二部 11 校となる。
- 8 年 春 東亜大学の加盟により、二部 12 校となる。
- 10 年 春 二部校に A・B 両リーグ制を採用。
- 12 年 春 一部 8 校、二部 7 校となる。
- 秋 日本文理大学、中京学院大学の加盟により、一部 8 校、二部 9 校となる。
- 13 年 春 名古屋商科大学、広島修道大学、神戸大学が連盟脱退。

- 14年 春 中京女子大学（現：至学館大学が加盟）。
- 16年 春 帝塚山大学の加盟により、二部10校となる。堺女子短期大学が加盟。
- 17年 春 九州国際大学、星城大学の加盟により、二部12校となる。
- 19年 春 中京大学脱退、環太平洋大学加盟
- 22年 春 九州国際大学脱退、九州共立大学加盟
- 23年 春 鈴鹿国際大学（現：鈴鹿大学）加盟、南九州大学脱退

※脱退年度不明：東亜大学、堺女子短期大学、星城大学

※休部中：京都産業大学（2016年度春より）

<八田杯>

元日本アマチュアレスリング協会会長、故八田一朗氏より贈られたものである。
本年度西日本学生リーグ戦において、一部校の選手で、優勝に貢献し、最も活躍した選手を「最優秀選手」として表彰する。

<小田原杯>

元関西アマチュアレスリング協会会長で、関西レスリング界育ての親、故小田原徳善先生を偲び、
本年度西日本学生リーグ戦において、二部校の選手で、優勝に貢献し、最も活躍した選手を「最優秀選手」として表彰する。

<松井杯>

元全日本学生レスリング連盟会長、故松井清氏より贈られたものである。
本年度西日本学生リーグ戦において、一部校の選手で、惜しくも優勝を逸したチームのために奮闘した選手を「敢闘賞」として表彰する。

<井川杯>

元西日本学生レスリング連盟名誉会長、井川豊氏より贈られたものである。
本年度西日本学生リーグ戦において、二部校の選手で、惜しくも優勝を逸したチームのために奮闘した選手を「敢闘賞」として表彰する。

<岩野杯>

西日本学生レスリング連盟在籍中に、全日本規模の大会もしくは国際大会で顕著な成績を残した選手に対して贈られる。
元西日本学生レスリング連盟名誉会長、故岩野悦真氏より寄贈された。